

石井 真吾 東北地方整備局三陸国道事務所長に聞く



略歴

石井 真吾 (いしい しんご)

- 1964年生まれ 秋田県大湯村出身
- 1983年 採用(東北地方建設局秋田工事事務所道路管理課)
- 2013年 東北地方整備局建設部都市・住宅整備課建設専門官
- 2015年 東北地方整備局道路部交通政策課課長補佐
- 2018年 東北地方整備局山形河川国道事務所副所長
- 2020年 東北地方整備局道路部交通政策課長
- 2021年 宮城県富谷市企画部長
- 2023年 東北地方整備局三陸国道事務所長

三陸沿岸道路の山田南IC～階上IC間と国道45号の山田町～洋野町間の改築・修繕、維持、管理を担う東北地方整備局三陸国道事務所の新たな所長に石井真吾氏が就任した。三治道の全通後も地域のさらなる活性化に向け、管内では山田北ICと洋野種市ICのフル規格化や田鎖墓目道路、箱石達曾部道路の整備が進む。防災機能強化や沿岸部と内陸部の広域連携が求められる中、石井所長に今後の取り組みなどを伺った。

就任の抱負をお願いします

石井 東日本大震災から12年が経過し、被災者支援を含めた復興・創生事業も進展と課題を踏まえつつ、継続的な取り組みが求められる時期だと思っています。管内の復興道路・復興支援道路については、事業関係者の皆さまのご支援・ご協力により、2021年12月18日に総延長約128kmの区間が開通することができました。今後は、この開通した道路をいかに活用し、どのように地域を活性化していくかが重要です。訪れてもらうことが一番大事だと思いますので、地域の皆さまの意見を聞きながら検討を進め、情報発信していければと考えています。

主な事業についてお伺いします

石井 当事務所では、三陸沿岸道路の山田南IC～階上IC間の約140kmと国道45号の山田町～洋野町間の約155kmを合わせた総延長約295kmの管理区間において各種

事業を進めています。三陸沿岸道路の山田北ICおよび洋野種市ICでは、周辺地域の防災機能の強化などを目的にICの南北方向へのフル規格化を実施しています。併せて岩手県内の三陸沿岸道路では初めての取り組みでは宮古市の津軽石PAに今年度からトイレ整備に着手します。また、地域の安全・安心に向けた道路施設の老朽化対策や橋梁耐震補強、トンネル補修・補強、無電柱化に向けた電線共同溝の整備を進めます。交通安全対策として歩道整備を行って



いるほか、久慈市と山田町で道の駅の整備を地元自治体と連携して進めており、久慈市の道の駅「いわて北三陸」は今年4月19日に開業しました。このほか、2016年の台風10号で閉伊川が氾濫し、国道106号で浸水と崩落があったことから、災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回解消に向けたバイパス事業として、延長7kmの田鎖墓目道路と延長9.7kmの箱石達曾部道路の調査設計を進めています。

今後の取り組みについては

石井 道路の利活用では、三陸沿岸道路などの開通により、その効果は徐々に見え始めていますが、各地域単独での取り組みでは、その効果が限定的となります。復興を実感として感じるには沿岸部の連携のみならず広域的な連携を強化し、ヒト・モノの交流拡大による民間投資の誘発や需要拡大などのストック効果発現に発展させ、持続可能な活力ある社会へ導くことが必要と考えています。今後、国・県・沿線自治体等の関係者が一体となって議論し、ストック効果を発信するとともに、新たな交流・連携による取り組みの推進を図り、地域の活性化に寄与していきたいと考えています。

老朽化対策、防災対策については

老朽化対策としては、三陸沿岸地域特有の急峻な地形により橋梁やトンネルが数多く存在しています。管内の橋梁は、1955年に完成した最も古い橋梁を含め221橋あり、そのうち完成後50年経過した橋梁は約3割に当たる67橋となっています。また、トンネルは70年に完成した最も古いトンネルも含め51カ所、50年経過したトンネルは約2割の10カ所となっています。今後は、これまで補修してきた橋梁やトンネルと併せて、短期間で整備された三陸沿岸道路の道路施設の補修が同時期に集中することを想定し、円滑な補修サイクルを確保するため、損傷程度が初期段階に補修する予防保全へ移行を進めていきたいと考えています。

防災対策では、近年の激甚化する気象状況も相まって、道路災害が数多く発生しています。管内では防災対策上必要な点検箇所は約400カ所を数え、緊急性を踏まえつつ必要箇所の防災対策を順次進めてい



るほか、防災機能の強化等を目的としたICのフル規格化や災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回解消を目的とした事業も同様に進めていきます。

事務所内の仕事を進める上で大切にしていることは

石井 働き方改革を進めようということで、従前の取り組みにこだわらず、省けるものは省いていこうと就任時に職員には話しました。事務所もピーク時には約150人の職員がいましたが、今は80人を割り、半分ぐらいとなっていますので、みんなで課題に取り組みなければなりません。見極めながらメリハリをつけて仕事を進め、明るく風通しのよい職場づくりを意識しています。

建設業界へのメッセージをお願いします

石井 復興道路・復興支援道路などの開通に向けて事業協力していただいたことに対し感謝申し上げます。少子高齢化が進む中、災害時の迅速な対応、そしてインフラの維持管理や除雪など「地域の守り手」である建設業の担い手確保は重要です。事務所としてもICT活用工事を試行し生産性向上に努めるほか、働き方改革の推進として週休2日工事などを継続していきます。引き続き管内の事業推進についてご協力をお願いします。

ありがとうございました。



国土交通省 発注者支援業務等を通じ
“美しきふるさと東北”の発展に寄与いたします。

株式会社 岩手パブリック

代表取締役 佐藤 慶亀

本社 / 〒020-0114 盛岡市高松2-14-28
TEL.019(601)7305
営業所 / 宮古・秋田
http://www.ipublic.co.jp/

IWAHYO
この道で奉仕

道路区画線・道路標示・道路標識・すべり止め舗装・一般土木工事

岩手標識株式会社

代表取締役 小山内 章誠

本社 / 岩手県花巻市二枚橋第3地割246番地1
〒025-0312 TEL.0198(26)5148
FAX.0198(26)5123

刈屋建設株式会社

代表取締役 向井田 岳

岩手県宮古市刈屋11-80-3
TEL.0193(72)3211 FAX.0193(72)2236
E-mail: info@kariya-kensetsu.co.jp

感謝 創業60周年 ~Reborn~

建設コンサルタント
株式会社 菊池技研コンサルタント

代表取締役 菊池 透

本社 / 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6番地8
TEL : 0192(27)0835・FAX : 0192(27)0836

私たちが求めるもの
それは豊かな未来を支える確かな技術です。

補修工学・構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

北東北支店 支店長 遠藤 一郎
www.sho-bond.co.jp/

私たちは“測る/計る”事を通して
地域の未来創造に貢献します。

株式会社 鈴木測量設計

代表取締役 鈴木 史章

本社 / 岩手県宮古市磯鶏沖12番18号
TEL.0193-64-0326
FAX.0193-64-0327
Email: info@kss.co.jp
支店 / 盛岡市、北上市

株式会社 テラ

遠野 テラ

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

NITTOCI 日特建設株式会社

執行役員東北支店長 玉田 信之
盛岡営業所長 藤井 裕二
三陸出張所長 檜野 直樹

東北支店 / 仙台市太白区富沢南一丁目18番地の8
TEL.022(243)4439 FAX.022(243)4438
盛岡営業所 / 盛岡市中央通二丁目8番5号
TEL.019(606)6120 FAX.019(606)6122
三陸出張所 / 釜石市大町1丁目8番6号
TEL.0193(27)8157 FAX.0193(27)8158

夢をカタチに

宮城建設株式会社

代表取締役社長 菅原 博之

〒028-8031 岩手県久慈市新中の橋第4地割35番地の3
TEL.0194-52-1111 FAX.0194-52-1297

盛岡支店 〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1-13-55
TEL.019-622-8923 FAX.019-653-5304
八戸支店 〒031-0086 青森県八戸市大字八戸町36 第一ビル3F
TEL.0178-32-7615 FAX.0178-32-7616

地域の未来を設計する 総合建設コンサルタント

株式会社 吉田測量設計

取締役会長 吉田 久夫
代表取締役 吉田 直人

本社 / 〒020-0861 岩手県盛岡市仙北一丁目3番13号
TEL.019(635)1740 FAX.019(635)1747
支店 / 宮古・一関・釜石・北上・水沢・花巻・仙台・秋田・東京
営業所 / 二戸・久慈・大船渡・山形・神奈川

ライト工業株式会社

東北統括支店
執行役員支店長 加藤 善守
盛岡営業所長 鈴木 修

東北統括支店 / 仙台市宮城野区榴岡4丁目13-15
TEL.022(295)6555 FAX.022(257)2363
盛岡営業所 / 紫波郡矢巾町大字藤沢第10地割182-10
TEL.019(681)1470 FAX.019(697)0737